

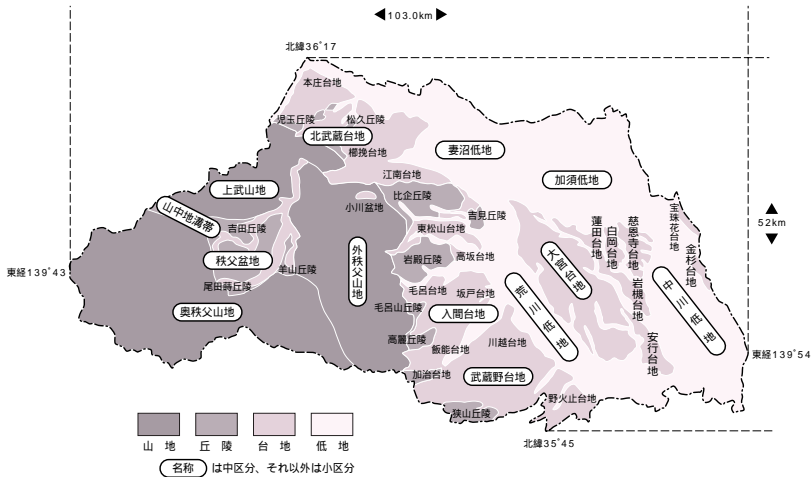
I

自然と人口

1 自然・地形

	* 1	* 2	* 3	* 4
	林野面積 (ha)	自然公園面積 国 立・国定・都道府 県立自然公園計) (ha)	都道府県自然環 境保全地域面積 (ha)	河川延長・一級 河川(指定区間 外含む) (km)
全 国	24 918 017	5 347 049	73 739 43	87 551 2
北 海 道	5 583 301	861 032	3 689 67	10 204 3
青 森 県	630 485	114 531	1 230.17	1 077 8
岩 手 県	1 156 859	71 842	2 195 45	2 140 2
宮 城 県	413 805	171 199	7 815 21	2 111 9
秋 田 県	840 308	123 169	686.19	2 738 7
山 形 県	647 331	154 796	5 105 96	2 923 5
福 島 県	943 544	168 206	4 867 41	3 350 9
茨 城 県	189 833	90 259	645 21	1 890 7
栃 木 県	345 048	132 139	4 672 26	2 706 7
群 馬 県	406 635	90 414	5 327 21	2 896 4
埼 玉 県	123 170	119 627	518 24	1 642 7
千 葉 県	165 408	28 522	1 773 75	512 6
東 京 都	79 104	73 602	405 30	736 5
神 奈 川 県	94 904	55 157	11 215 90	331 7
新 潟 県	809 480	316 955	2 008 42	3 602 1
富 山 県	239 693	119 754	623.78	1 168 1
石 川 県	279 547	52 494	1 050 50	316 7
福 井 県	311 147	61 432	273.12	1 096 0
山 梨 県	349 574	121 153	2 144 33	2 055 6
長 野 県	1 023 069	278 523	788 49	5 078 1
岐 阜 県	845 346	194 925	2 956 87	3 268 3
静 岡 県	497 690	83 673	5 185 52	1 629 0
愛 知 県	220 421	89 784	127.73	1 383 7
三 重 県	375 464	204 677	458 60	1 745 1
滋 賀 県	205 412	149 957	0 00	2 337 7
京 都 府	344 573	8 702	106 63	666 4
大 阪 府	57 899	16 498	38 33	1 540 2
兵 庫 県	563 646	166 015	398 30	1 759 2
奈 良 県	284 056	63 328	92 10	1 599 0
和 歌 山 県	362 824	42 904	329 39	650 9
鳥 取 県	257 668	47 109	144 70	1 034 2
島 根 県	529 211	40 519	178 74	2 093 7
岡 山 県	490 166	79 488	66 04	2 541 3
広 島 県	622 213	37 244	2 054 12	2 415 6
山 口 県	436 133	42 667	0 00	215 8
徳 島 県	312 360	38 262	39 00	1 519 0
香 川 県	88 463	20 534	88 02	87 1
愛 媛 県	400 644	41 388	1 914 37	1 944 3
高 知 県	593 650	46 705	4 70	1 924 2
福 岡 県	223 382	88 107	134 11	1 297 4
佐 賀 県	109 943	27 007	121 00	1 055 1
長 崎 県	247 532	74 095	726 72	68 2
熊 本 県	465 810	155 644	157 95	1 728 4
分 岐 県	456 892	174 849	16 16	2 080 9
大 宮 崎 県	589 940	91 784	183 97	1 508 2
鹿 児 島 県	593 209	79 871	229 00	877 1
沖 縄 県	111 225	35 651	950 79	0 0
埼玉県の順位	41	17	24	24

埼玉県の地形



資料：埼玉県の地形区分と名称図（1975村本達郎による）

概要

埼玉県は関東地方の中西部に位置する内陸県で、東は茨城、千葉、西は長野、山梨、南は東京、北は群馬、栃木の1都6県に接しています。

地形は、県の最高峰・三宝山(2,483m)をはじめとする2,000m級の山地が西部に連なり、東部に移るにつれて丘陵、台地、低地と次第に低くなっています。

「自然公園の面積」によると、平成13年3月1日現在の埼玉県の自然公園は、国立1か所、県立10か所の12万haが指定されており、その区域は県土の32%を占めています。

また、本県においては法による自然環境保全地域の指定はなく、埼玉県自然環境保全条例によりその地域を指定しています。

埼玉県の河川は利根川と荒川の2つの1級河川の水系に分けられています。

林野面積

現況森林面積（私有林地域森林計画及び林野庁所管の国有林地域別森林計画樹立時の森林面積に、その後の移動面積を加減し、森林計画に含まれていない森林面積を加え

た面積）に野草地（森林以外の土地で野草、かん木類が繁茂している土地）を加えた面積。

自然公園

優れた自然の風景地の保護及びその利用の増進を図り、もって国民の保健、休養及び教化に資するため、自然公園法や条例により指定している地域。表*2の県別面積は再測定面積なので、合計は全国の面積と一致しない。

自然環境保全地域

自然環境の適正な保全を総合的に推進し、もって現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与するため、優れた天然林、特異な地形・地質等の区域、動植物等の自生地などで一定規模以上のものについて法律や条例で指定している地域。

1級河川

国土保全上又は国民経済上特に重要な水系のうち、国土交通大臣が1級河川として指定したもの。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
*1 「世界農林業センサス」農林水産省	平成12年8月1日	10年
*2 「自然公園の面積」環境省	平成13年3月31日	毎年
*3 環境省ホームページ	平成13年3月31日	毎年
*4 「河川管理統計」国土交通省	平成12年4月30日	毎年

2 気象

* 1

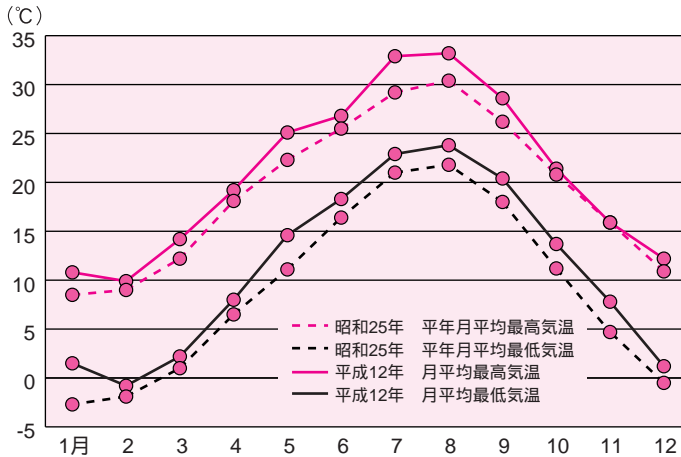
* 2

* 3

* 4

	平均気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (h)	日平均曇量 < 1 5 (快晴日数) (日)
全 国
北海道	9.0	1 444.5	1 581.9)	8
青森県	10.7	1 406.0	1 502.5)	3
岩手県	10.6	1 417.5	1 701.8)	4
宮城県	12.9	1 186.5	1 844.8	8
秋田県	12.2	1 562.5	1 452.7)	8
山形県	12.2	1 165.0	1 538.2	7
福島県	13.5	1 291.0	1 791.4	9
茨城県	14.2	1 400.0	2 056.9	41
栃木県	14.3	1 633.5	1 984.6)	38
群馬県	14.9	1 163.0	2 175.5	30
埼玉県	15.5	1 324.0	2 144.9	54
千葉県	16.2	1 329.0	1 986.1	49
東京都	16.9	1 603.0	1 962.5	33
神奈川県	16.2	1 557.5	2 024.3)	29
新潟県	14.3	1 641.0	1 692.8	11
富山県	14.6	1 954.5	1 738.8	16
石川県	15.1	2 126.0	1 822.1	20
福井県	14.9	1 976.0	1 799.6	20
山梨県	15.1	1 479.0	2 248.7)	46
長野県	12.2	788.0)	1 975.8)	20
岐阜県	16.2	1 679.5	2 131.6	38
静岡県	16.8	2 305.5	2 114.4)	49
愛知県	16.2	1 735.5	2 162.3	24
三重県	16.4	1 600.0	2 086.4)	30
滋賀県	15.1	1 474.5	1 914.5	33
京都府	16.2	1 368.5	1 775.9)	11
大阪府	17.2	1 163.5	2 009.4)	21
兵庫県	17.0	1 026.5	1 980.0)	21
奈良県	15.1	1 319.5	1 809.0)	27
和歌山県	16.8	1 414.0	2 075.7)	24
鳥取県	15.1	1 925.5	1 755.4	15
島根県	15.3	1 567.5	1 784.2)	13
岡山県	16.5	813.0	2 006.8)	36
広島県	16.5	1 138.5	2 064.6)	32
山口県	15.7	1 387.5	1 980.6	35
徳島県	16.7	1 337.0	2 075.5	25
香川県	16.7	856.5	2 076.9	25
愛媛県	16.7	1 150.0	2 035.1	28
高知県	17.1	2 500.0	2 188.6)	45
福岡県	17.2	1 344.0	2 001.5)	36
佐賀県	16.7	1 710.5	2 052.7	49
長崎県	17.3	1 560.5	1 989.6	41
熊本県	17.1	1 825.5	2 076.0)	30
大分県	16.8	1 458.0	2 050.2)	40
宮崎県	17.9	2 594.0	2 105.2	49
鹿児島県	18.8	2 667.0	1 968.9)	27
沖縄県	23.0	2 613.0	1 604.5)	12
埼玉県の順位	27	35	5	1

月平均最高・最低気温



資料：「埼玉県統計年鑑」県統計課、「埼玉県の気象概況」熊谷地方気象台

概要

埼玉県の気候は、夏の厳しい蒸し暑さと冬の乾燥した「カラッ風」と呼ばれる北西季節風が特徴的な内陸性の太平洋側気候です。

「埼玉県の気象概況」によると平成12年の熊谷地方気象台観測の年平均気温は平年値よりも1.3 高い15.5、最高気温は9月2日の39.7、最低気温は2月27日の-4 でした。平成12年の月平均最高・最低気温を昭和25年の平年の月平均最高・最低気温と比べてみると、平成12年の月平均最高・最低気温が昭和25年の平年の月平均最高・最低気温のほとんどを上回っています。

また、平成12年の降水量は1324.0mmで、月最多降水量は7月の336.0mm、月最小降水量は2月と12月の0.0mmでした。

「気象庁年報」によると、平成12年の熊谷地方気象台観測の日照時間は前年より17.4時間増えて2144.9時間となりました。また、快晴日数は昨年より13日減って54日となりましたが、昨年に引き続き全国第1位でした。

年平均値

月平均値の平均。月平均値は日平均値の平均であり、日平均値は毎日24回の観測値の平均。

平年値

平均的な気候状態を表すときの用語で、気象庁では30年間の平均値を用い、10年ごとに更新している。平成12年(2000年)の平年値は1961年～1990年の30年の平均値。

快晴日

1日3回(9、15、21時)観測した雲量(雲におおわれた部分の全天空に対する見かけ上の割合を10分比で表したもの)の平均が1.5未満の日。

表中の数字の右の「）」

推定された観測値、または欠測。

表中の各都道府県値は原則として都道府県庁所在地の観測地点によったが、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の値とした。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「気象庁年報」気象庁	平成12年	毎年

3 自然災害

* 1

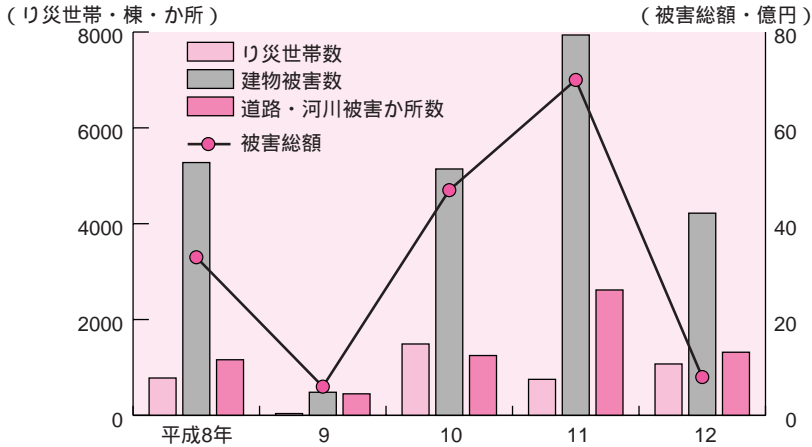
* 2

* 3

* 4

	震度観測回数 (震度1以上) (回)	自然災害 り災世帯 (世帯)	自然災害 り災者数 (人)	自然災害 被害総額 (千円)
全 国	...	30 957	85 463	604 909 104
北 海 道	3	-	-	47 568 490
青 森 県	14	105	252	3 508 729
岩 手 県	36	55	140	8 299 421
宮 城 県	21	6	13	3 604 722
秋 田 県	5	2	4	4 299 321
山 形 県	4	2	2	3 319 313
福 島 県	30	-	-	7 440 829
茨 城 県	80	26	81	2 596 073
栃 木 県	20	17	31	2 166 000
群 馬 県	5	21	64	11 569 483
埼 玉 県	17	1 073	2 821	820 472
千 葉 県	34	118	367	6 231 571
東 京 都	27	89	221	25 474 684
神 奈 川 県	202	39	76	53 452
新 潟 県	5	56	175	23 095 309
富 山 県	7	1	3	1 694 463
石 川 県	7	-	-	3 565 207
福 井 県	13	-	-	814 826
山 梨 県	19	140	348	7 550 870
長 野 県	9	66	150	22 775 174
岐 阜 県	9	132	429	30 951 336
静 岡 県	30	18	52	8 727 163
愛 知 県	11	24 556	67 045	224 977 996
三 重 県	11	327	864	3 210 296
滋 賀 県	17	-	-	140 334
京 都 府	17	2	7	968 084
大 阪 府	5	100	145	8 716
兵 庫 県	10	41	117	2 038 302
奈 良 県	20	250	725	2 584 171
和 歌 山 県	21	-	-	5 119 660
鳥 取 県	15	2 710	8 270	47 637 765
島 根 県	62	500	1 934	13 939 158
岡 山 県	14	39	119	2 129 987
広 島 県	12	2	8	1 740 414
山 口 県	5	117	295	1 100 083
徳 島 県	18	3	4	4 762 730
香 川 県	14	-	-	197 801
愛 媛 県	12	-	-	1 225 346
高 知 県	13	-	-	11 617 184
福 岡 県	4	1	2	2 226 150
佐 賀 県	5	-	-	759 140
長 崎 県	5	35	-	4 230 977
熊 本 県	28	7	26	9 650 961
大 宮 県	12	-	-	4 952 084
分 崎 県	19	3	4	6 311 961
鹿 児 島 県	14	272	595	24 694 333
沖 縄 県	1	26	74	2 558 563
埼玉県の順位	17	3	3	41

自然災害被害状況



資料：「消防白書」消防庁

概要

「地震・火山月報」によると、平成12年の埼玉県熊谷市の観測点で震度1以上の地震を観測した回数は17回で、全国第17位でした。その内訳は震度1が12回、震度2が4回、震度3が1回でした。なお、全国で震度1以上を観測した回数の最も多い観測点は東京都神津島村にあり、6,889回でした。また、平成12年に観測された全国で最も強い震度は震度6弱で、神津島村(1回)、新島村(2回)、三宅村(1回)で観測されたものでした。

「消防白書」によると、平成12年は昭和61年以来14年ぶりに台風の上陸はなかったものの(台風の発生数23個)、接近した台風の影響を受けて前線の活動が活発化し、各地に被害をもたらしました。埼玉県の自然災害によるり災世帯数はその前年より321世帯増加して1,073世帯となりました。り災者数も565人増加して2,821人となりました。り災世帯数、り災者数ともに全国第3位でした。

一方、被害総額はその前年より62億円減少し8億円となり、全国第41位でした。そ

の被害の内訳では、負傷者(軽傷)3人、建物被害のうち床上浸水が1,032戸、床下浸水が3,188戸、田の冠水412.66ha、畑の流出・埋没0.26ha、畑の冠水31.7ha、道路1,308か所、橋りょう1か所、河川10か所、崖崩れ1か所、鉄道不通1か所でした。

表*2~4の自然災害

暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、火山噴火、その他異常な事前現象により生じた被害。

表*1の各都道府県値は原則として都道府県庁所在地の観測地点によったが、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の値とした。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
*1「地震・火山月報」気象庁 *2~4「消防白書」消防庁	平成12年 平成12年	毎年 毎年

4 面積

* 1

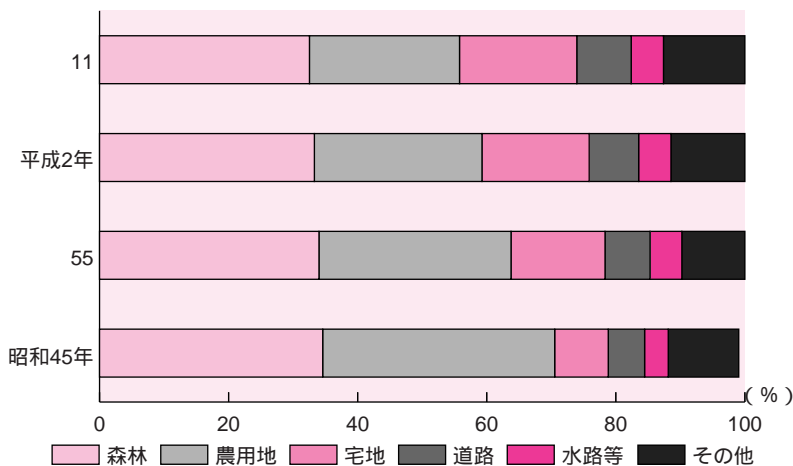
* 2

* 3

* 4

	総面積 (km ²)	可住地面積割合 (%)	総面積による 人口密度 (1km ² 当たり)	人口集中地区 面積比率 (%)
全 国	377 873.06	32.3	340.4	3.30
北海道	83 453.04	27.7	72.5	0.96
青森県	9 606.33	32.9	153.6	1.62
岩手県	15 278.40	24.0	92.7	0.56
宮城県	7 285.07	42.4	324.7	3.18
秋田県	11 612.11	27.1	102.4	0.75
山形県	9 323.34	30.7	133.4	1.21
福島県	13 782.48	29.9	154.3	1.27
茨城県	6 095.58	64.2	489.8	3.80
栃木県	6 408.28	45.0	312.8	2.78
群馬県	6 363.16	35.5	318.2	3.06
埼玉県	3 797.30	66.9	1 827.1	17.63
千葉県	5 156.19	66.9	1 149.4	11.95
東京都	2 186.90	63.1	5 516.5	48.79
神奈川県	2 415.41	59.5	3 514.9	38.77
新潟県	12 582.37	36.3	196.8	1.79
富山県	4 247.22	43.5	263.9	2.49
石川県	4 185.22	33.1	282.2	2.46
福井県	4 188.75	25.2	197.9	1.74
山梨県	4 465.37	21.1	198.9	1.41
長野県	13 585.22	24.2	163.1	1.28
岐阜県	10 598.18	19.6	198.9	1.69
静岡県	7 779.46	34.8	484.3	5.27
愛知県	5 155.84	56.5	1 366.1	17.18
三重県	5 776.40	34.4	321.5	3.06
滋賀県	4 017.36	32.1	334.3	2.42
京都府	4 612.94	24.5	573.3	5.53
大阪府	1 892.86	68.6	4 651.7	47.44
兵庫県	8 392.03	31.9	661.4	6.65
奈良県	3 691.09	22.6	390.9	3.71
和歌山県	4 725.55	23.1	226.4	1.91
鳥取県	3 507.17	25.2	174.9	1.28
島根県	6 707.29	19.3	113.5	0.66
岡山県	7 112.13	30.9	274.3	2.77
広島県	8 476.95	26.1	339.6	3.59
山口県	6 110.45	27.9	250.1	3.39
徳島県	4 145.10	24.2	198.8	1.34
香川県	1 875.88	52.4	545.3	4.15
愛媛県	5 676.22	29.3	263.0	2.65
高知県	7 104.66	16.3	114.6	0.81
福岡県	4 971.01	55.0	1 009.0	11.21
佐賀県	2 439.23	55.5	359.4	2.13
長崎県	4 092.44	40.1	370.6	2.93
熊本県	7 403.68	36.0	251.1	1.94
大分県	6 337.97	27.9	192.7	1.79
宮崎県	7 734.40	23.6	151.3	1.44
鹿児島県	9 186.71	35.9	194.4	1.40
沖縄県	2 271.30	49.2	580.4	5.34
埼玉県の順位	39	2	4	4

利用形態別土地利用（各年10月1日現在）



資料：「さいたまの土地」県土地政策課

概要

「国勢調査」に用いられた平成12年10月1日現在の埼玉県の面積は3,797km²（東西約103km、南北約52km）で国土の約1%に当たり、47都道府県中39番目の広さです。

総面積に対する人口密度は1km²当たり1,827.1人で全国第4位となり、人口集中地区は県内の全ての市と18の町に指定されています。

県土全面積の約3分の2を平地が占めており、「社会生活統計指標」によると可住地面積割合は全体の66.9%で全国第2位となっています。

「さいたまの土地」によると、平成11年の県土の利用形態比率は農林地（農用地と森林）が56%、宅地が18%ですが、東京都に隣接しているという地理的な条件等から、県全体としては人口の増加による宅地の増加と農林地の減少が進んでいます。

総面積

国土交通省国土地理院「平成12年全国都道府県市区町村別面積調」を基礎としているが、一部境界未定のため、総務省統計局

において推定した。

*3の人口密度の算出には、国勢調査令（昭和55年政令98号）の規定に基づき北方地域及び竹島を除外している。

可住地面積割合

$(\text{可住地面積} \div \text{総面積}) \times 100$

なお、可住地面積とは総面積から林野面積と主要湖沼面積（面積が1km²以上の湖沼で人造湖以外のもの）を差し引いたもの。

人口集中地区

各市区町村を細分化した基本単位区（学校区、町丁・字などで設定した地域単位）ごとに集計した人口などが、次の(1)(2)の条件に両方とも当てはまる都市的地域。

- (1)市区町村の境界内で人口密度の高い基本単位区（原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上）が隣接していること。
- (2)その基本単位区の人口が、5,000人以上となること

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
*1 3 4 「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年
*2 「社会生活統計指標」総務省統計局	平成11年10月1日	毎年

5 人口(1)

* 1

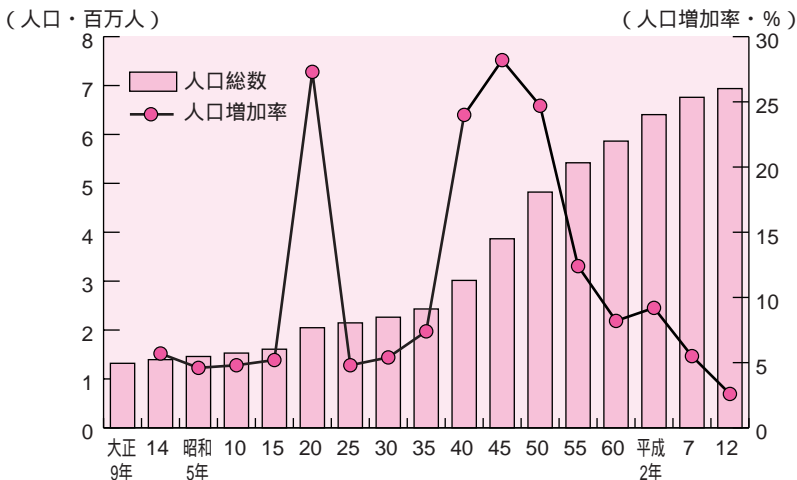
* 2

* 3

* 4

	人口総数 (人)	男 (人)	女 (人)	外国人人口 (人)
全 国	126 925 843	62 110 764	64 815 079	1 310 545
北海道	5 683 062	2 719 389	2 963 673	12 446
青森県	1 475 728	702 573	773 155	3 036
岩手県	1 416 180	681 238	734 942	3 840
宮城県	2 365 320	1 158 622	1 206 698	10 401
秋田県	1 189 279	564 556	624 723	3 070
山形県	1 244 147	601 372	642 775	5 014
福島県	2 126 935	1 037 787	1 089 148	8 833
茨城県	2 985 676	1 488 340	1 497 336	30 848
栃木県	2 004 817	995 859	1 008 958	21 082
群馬県	2 024 852	999 349	1 025 503	28 539
埼玉県	6 938 006	3 500 224	3 437 782	62 411
千葉県	5 926 285	2 976 984	2 949 301	57 585
東京都	12 064 101	6 028 562	6 035 539	212 975
神奈川県	8 489 974	4 308 786	4 181 188	99 251
新潟県	2 475 733	1 202 004	1 273 729	9 349
富山県	1 120 851	540 212	580 639	7 061
石川県	1 180 977	572 244	608 733	6 321
福井県	828 944	402 367	426 577	9 861
山梨県	888 172	436 837	451 335	11 001
長野県	2 215 168	1 080 986	1 134 182	33 278
岐阜県	2 107 700	1 022 186	1 085 514	26 599
静岡県	3 767 393	1 857 031	1 910 362	52 393
愛知県	7 043 300	3 525 698	3 517 602	110 298
三重県	1 857 339	901 380	955 959	23 922
滋賀県	1 342 832	663 432	679 400	18 784
京都府	2 644 391	1 278 142	1 366 249	45 094
大阪府	8 805 081	4 304 059	4 501 022	170 877
兵庫県	5 550 574	2 674 625	2 875 949	82 861
奈良県	1 442 795	691 098	751 697	8 443
和歌山県	1 069 912	506 882	563 030	4 807
鳥取県	613 289	293 403	319 886	3 061
島根県	761 503	363 994	397 509	4 429
岡山県	1 950 828	936 044	1 014 784	12 555
広島県	2 878 915	1 392 496	1 486 419	23 113
山口県	1 527 964	722 683	805 281	12 670
徳島県	824 108	391 718	432 390	2 737
香川県	1 022 890	491 761	531 129	4 914
愛媛県	1 493 092	704 289	788 803	4 540
高知県	813 949	383 859	430 090	2 429
福岡県	5 015 699	2 388 824	2 626 875	30 702
佐賀県	876 654	414 377	462 277	2 586
長崎県	1 516 523	712 346	804 177	4 656
熊本県	1 859 344	878 145	981 199	4 409
大分県	1 221 140	575 985	645 155	4 699
宮崎県	1 170 007	552 160	617 847	2 451
鹿児島県	1 786 194	837 979	948 215	3 625
沖縄県	1 318 220	647 877	670 343	6 689
埼玉県の順位	5	5	5	6

人口と人口増加率（各年10月1日現在）



資料：「国勢調査」総務省統計局 注）昭和20年は11月1日で行われた人口調査による人口

概要

「国勢調査」による平成12年10月1日現在の埼玉県の人口は、前回調査（平成7年）より178,695人（2.6%）増加し、6,938,006人で前回調査時に引き続き全国第5位となっています。

人口は、第1回国勢調査（大正9年）以来、現在に至るまで一貫して増加を続けていますが、増加率では昭和45年をピークに低下傾向にあり、平成12年は過去最低となりました。

また、人口性比（女子100人に対する男子の数）は101.8となっており、男子の人口は女子の人口を62,442人上回っています。男性が女性より多いのは、神奈川、埼玉、千葉、愛知の4県となっています。

県内に在住する外国人は、62,411人で、前回に比べて10,289人、19.7%増加しています。この結果、埼玉県の総人口に占める外国人の割合は0.9%となり、前回と比べて0.2ポイント上昇しています。

人口

国勢調査における人口は、調査日現在、日本国内に常住している全ての人を、常住している場所で調査した結果（常住人口）である。

常住しているかどうかは、10月1日現在、
 (1)既に3か月以上住んでいる
 (2)まだ、3か月に満たないが、10月1日の前後を通じて3か月以上にわたって住むことになっている

かどうかで判断し、どちらの要件も当てはまる住居のない人は、調査時に居た場所に「常住している」とみなしている。

本邦内に常住している人は、国籍に関係なく調査の対象になるため、(1) (2)に該当する外国人も調査の対象となる。ただし、国際的な慣行により、「外国の外交団や外国の軍人」などは、調査の対象から除くこととなっている。

このほか、ふだん住んでいる住居を陸上に持たない人などについても、一定の基準のもとに調査を行っている。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1 - 4 「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年

6 人口(2)

* 1

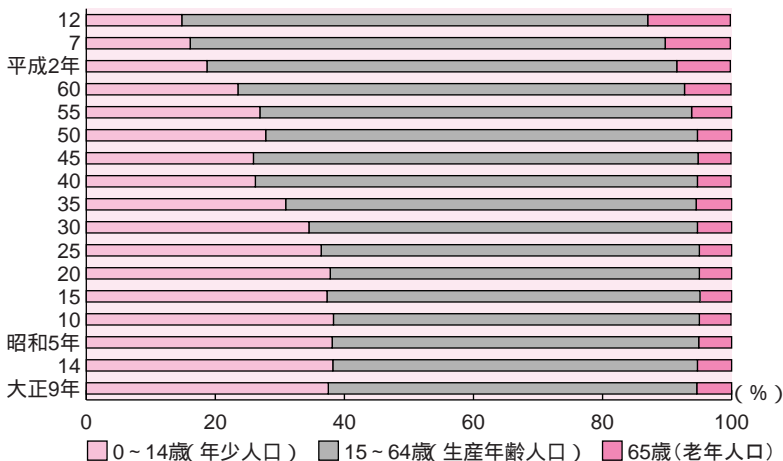
* 2

* 3

* 4

	年少人口 (人)	生産年齢人口 (人)	老年人口 (人)	生産年齢人口 構成比 (%)
全 国	18 472 499	86 219 631	22 005 152	67.9
北海道	792 352	3 832 902	1 031 552	67.4
青森県	223 141	964 661	287 099	65.4
岩手県	212 470	899 177	303 988	63.5
宮城県	353 516	1 601 826	409 156	67.7
秋田県	163 095	746 252	279 764	62.7
山形県	186 182	772 100	285 590	62.1
福島県	341 038	1 353 500	431 797	63.6
茨城県	458 501	2 030 360	495 693	68.0
栃木県	306 905	1 352 311	344 506	67.5
群馬県	306 895	1 346 441	367 117	66.5
埼玉県	1 024 787	5 011 202	889 243	72.2
千葉県	842 534	4 235 925	837 017	71.5
東京都	1 420 919	8 685 878	1 910 456	72.0
神奈川県	1 184 231	6 121 470	1 169 528	72.1
新潟県	365 667	1 581 186	526 112	63.9
富山県	157 179	730 541	232 733	65.2
石川県	175 569	781 137	219 666	66.1
福井県	130 143	529 017	169 489	63.8
山梨県	137 594	576 767	173 580	64.9
長野県	334 306	1 404 575	475 127	63.4
岐阜県	322 769	1 401 064	383 168	66.5
静岡県	568 986	2 532 256	665 574	67.2
愛知県	1 081 280	4 914 857	1 019 999	69.8
三重県	283 081	1 222 594	350 959	65.8
滋賀県	220 072	906 629	215 552	67.5
京都府	360 531	1 810 233	459 273	68.5
大阪府	1 249 955	6 224 186	1 315 213	70.7
兵庫県	830 112	3 776 483	939 950	68.0
奈良県	213 822	987 435	239 432	68.4
和歌山県	159 496	683 805	226 323	63.9
鳥取県	93 584	383 921	134 984	62.6
島根県	111 982	460 103	189 031	60.4
岡山県	291 346	1 265 122	393 658	64.9
広島県	428 035	1 916 796	531 537	66.6
山口県	213 578	974 131	339 836	63.8
徳島県	117 217	525 724	180 637	63.8
香川県	148 215	659 881	214 242	64.5
愛媛県	219 340	953 189	320 078	63.8
高知県	111 740	509 050	191 729	62.5
福岡県	742 740	3 393 080	870 290	67.6
佐賀県	144 028	553 351	179 132	63.1
長崎県	243 046	956 692	315 871	63.1
熊本県	288 654	1 173 790	396 020	63.1
大分県	179 439	774 403	265 901	63.4
宮崎県	187 431	740 401	241 754	63.3
鹿児島県	280 717	1 101 401	403 239	61.7
沖縄県	264 279	861 826	182 557	65.4
埼玉県の順位	5	4	7	1

年齢3区分別人口構成比（各年10月1日現在）



資料：「国勢調査」総務省統計局

概要

「国勢調査」による平成12年10月1日現在の埼玉県の人口を年齢で3区分すると、年少人口は1,024,787人（総人口の14.8%）、生産年齢人口は5,011,202人（同72.2%）、老年人口は889,243人（同12.8%）となっています。

年少人口は、前回調査に比べ65,608人の減少となっています。年少人口の総人口に占める割合は、昭和50年には第2次ベビーブームの下で一度上昇に転じましたが、昭和55年から再び低下し始め今回の調査では14.8%と調査開始以来最も低くなっています。

生産年齢人口は、前回調査に比べ34,257人の増加となっています。生産年齢人口の総人口に占める割合は、昭和30～60年は60%台で推移し、平成2年に70%台となり今回の調査でも前回調査と比べると減少したものの72.2%となっています。この割合は前回調査より2つ順位が上がり全国第1位となりました。

老年人口は、前回調査に比べ208,071人増と、調査開始以来最も増加しています。

また、総人口に占める割合も前回調査より2.7ポイント上昇して12.8%となっており、高齢化が進行していますが、この割合は全国最下位でした。

年齢

平成12年9月30日現在による満年齢である。なお、平成12年10月1日午前0時に生まれた人は0歳とした。

年少人口

15歳未満の人口

生産年齢人口

15～64歳の人口

老年人口

65歳以上の人口

生産年齢人口割合

生産年齢人口 ÷ 総人口 × 100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年

7 年 齡

* 1

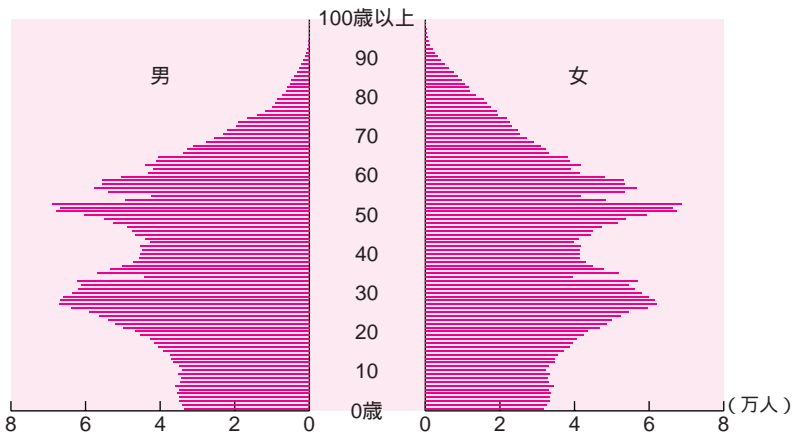
* 2

* 3

* 4

	平均年齢 (歳)	100歳以上人口 (人)	平均寿命(男) (歳)	平均寿命(女) (歳)
全 国	41.4	12,256	76.70	83.22
北海道	42.2	520	76.56	83.41
青森県	42.4	95	74.71	82.51
岩手県	43.3	133	76.35	83.41
宮城県	40.8	161	77.00	83.32
秋田県	44.8	112	75.92	83.12
山形県	43.9	113	76.99	83.23
福島県	42.2	167	76.47	82.93
茨城県	41.0	158	76.32	82.87
栃木県	41.2	148	76.12	82.76
群馬県	41.8	176	76.98	83.12
埼玉県	39.6	320	76.95	82.92
千葉県	40.3	336	76.89	83.19
東京都	41.2	1,141	76.91	83.12
神奈川県	39.9	553	77.20	83.35
新潟県	43.3	251	76.98	83.66
富山県	43.5	122	77.16	83.86
石川県	41.9	100	77.16	83.54
福井県	42.5	106	77.51	83.63
山梨県	42.0	102	76.82	83.67
長野県	43.2	260	78.08	83.89
岐阜県	41.7	172	77.17	83.00
静岡県	41.7	417	77.22	83.70
愛知県	39.8	386	76.90	82.80
三重県	42.1	157	76.76	83.02
滋賀県	39.9	92	77.13	83.20
京都府	41.5	288	77.14	83.44
大阪府	40.6	544	75.90	82.52
兵庫県	41.2	491	75.54	81.83
奈良県	41.2	112	77.14	82.96
和歌山県	43.4	131	76.07	82.71
鳥取県	43.3	94	76.09	83.59
島根県	44.9	221	76.90	84.03
岡山県	42.5	286	77.03	83.81
広島県	42.0	423	76.77	83.66
山口県	44.2	252	76.36	83.57
徳島県	43.7	119	76.21	83.17
香川県	43.2	128	77.12	83.47
愛媛県	43.5	247	76.43	83.28
高知県	44.7	233	76.18	83.57
福岡県	41.1	603	76.12	83.44
佐賀県	42.1	141	76.26	83.43
長崎県	42.7	222	76.15	83.23
熊本県	42.8	388	77.31	84.39
大分県	43.6	158	76.83	83.61
宮崎県	42.6	170	76.53	83.66
鹿児島県	43.2	336	76.13	83.36
沖縄県	37.5	371	77.22	85.08
埼玉県の順位	46	14	19	40

人口ピラミッド（平成12年10月1日現在）



資料：「国勢調査」総務省統計局

概要

「国勢調査」による平成12年10月1日現在の埼玉県の平均年齢は39.6歳となり、前回調査と比較して2.2歳上昇しました。しかし、これは全国平均の41.4歳を1.8歳下回っており、前回に引き続き第46位（最下位・沖縄県37.5歳）と全国で2番目に低い順位となっています。

人口を年齢毎に積み上げた人口ピラミッドは「ひょうたん型」を示しており、第2次ベビーブーム期以降その裾が次第に狭まってきています。

100歳以上人口は320人で、その男女別内訳は男性51人、女性269人と女性が84%を占めています。

「都道府県別生命表」によると、平成7年の国勢調査をもとに算出した埼玉県の平均寿命は男性が76.95歳、女性82.92歳で、平成2年の平均寿命と較べて男性で0.74歳、女性で1.23歳上昇しています。また、全国平均と比較してみると、男性は0.25歳上回り全国第19位、女性は0.3歳下回り全国第40位となっています。

平均年齢

年齢(各歳) × 各歳別人口 ÷ 総人口 + 0.5

生命表

一定期間におけるある人口集団の死亡状況を平均余命などによって表現したものの。

生命表は5年ごとに作成されるが、平成7年都道府県別生命表は平成6年～8年人口動態確定数（厚生省）による日本人死亡数及び出生数、平成7年国勢調査による確定日本人人口を基礎資料としている。

平均寿命

0歳の平均余命（x歳に達したものがその後生存する年数の平均）

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1 2 「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年
* 3 4 「都道府県別生命表」厚生省	平成7年10月1日	5年

8 世帯

* 1

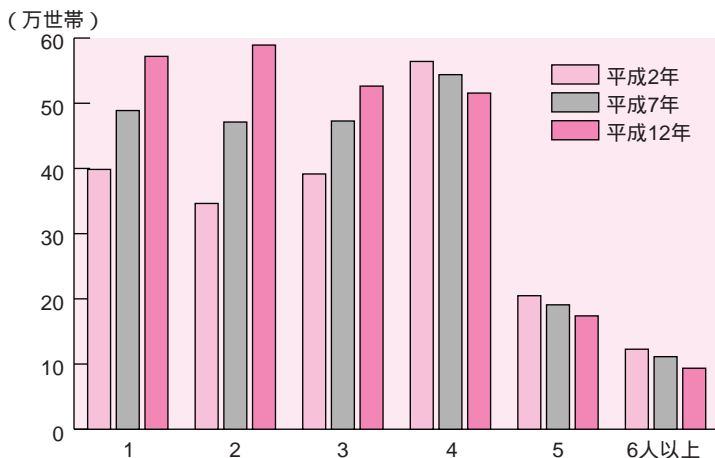
* 2

* 3

* 4

	一般世帯数 (世帯)	一般世帯1世帯 当たり人員 (人)	一般世帯・ 世帯人員 1人世帯割合 (%)	核家族世帯割合 (%)
全 国	46 782 383	2 67	27 6	58 4
北 海 道	2 277 968	2 42	30 0	60 5
青 森 県	504 373	2 86	24 1	54 2
岩 手 県	474 660	2 92	24 5	50 9
宮 城 県	831 669	2 80	28 6	52 0
秋 田 県	388 424	3 00	21 2	50 5
山 形 県	376 219	3 25	20 0	45 8
福 島 県	686 225	3 05	22 6	52 1
茨 城 県	983 817	2 99	21 4	58 3
栃 木 県	665 934	2 97	22 4	56 5
群 馬 県	690 972	2 88	21 8	60 1
埼 玉 県	2 470 487	2 78	23 1	65 5
千 葉 県	2 164 117	2 70	25 5	62 5
東 京 都	5 371 057	2 21	40 9	52 2
神 奈 川 県	3 318 332	2 53	29 5	62 0
新 潟 県	791 880	3 07	21 7	51 1
富 山 県	356 361	3 09	19 9	52 3
石 川 県	406 618	2 83	26 0	53 2
福 井 県	258 328	3 14	20 9	50 7
山 梨 県	307 916	2 84	24 2	57 4
長 野 県	755 840	2 89	23 1	55 2
岐 阜 県	678 036	3 07	19 7	56 7
静 岡 県	1 278 668	2 91	22 9	56 9
愛 知 県	2 522 824	2 75	26 2	59 8
三 重 県	635 382	2 88	21 7	59 4
滋 賀 県	439 370	3 02	22 2	57 5
京 都 府	1 015 468	2 55	30 9	57 6
大 阪 府	3 454 840	2 51	29 8	61 9
兵 庫 県	2 035 097	2 69	24 9	63 2
奈 良 県	484 954	2 93	19 1	64 9
和 歌 山 県	379 753	2 77	22 0	62 0
鳥 取 県	199 988	3 00	22 7	51 8
島 根 県	256 508	2 90	24 0	51 0
岡 山 県	689 733	2 77	25 0	57 4
広 島 県	1 095 905	2 57	28 0	59 9
山 口 県	582 437	2 56	26 8	59 8
徳 島 県	287 897	2 78	24 4	55 7
香 川 県	363 955	2 75	23 8	58 5
愛 媛 県	564 959	2 59	26 3	60 3
高 知 県	319 298	2 47	29 8	57 7
福 岡 県	1 906 862	2 57	30 2	57 9
佐 賀 県	277 606	3 08	21 0	55 1
長 崎 県	542 985	2 71	25 3	59 9
熊 本 県	644 963	2 81	25 0	56 2
大 分 県	451 697	2 64	26 4	58 0
宮 崎 県	437 493	2 61	25 7	62 2
鹿 児 島 県	714 413	2 43	30 1	62 4
沖 縄 県	440 095	2 91	24 3	64 5
埼玉県の順位	5	26	29	1

世帯人員別世帯数（各年10月1日現在）



資料：「国勢調査」総務省統計局

概要

「国勢調査」による平成12年10月1日現在の県の総世帯数は2,482,374世帯で、そのうち一般世帯数が2,470,487世帯、施設等の世帯が2,284世帯となっています。一般世帯数は前回調査と比較して、191,751世帯増加し、前回に引き続き全国第5位となりました。

一般世帯の世帯人員別世帯数では、世帯人員1人から3人の世帯が増え、4人以上の世帯が減少しました。その結果、県では世帯人員が2人の世帯が最も多くなり（前回調査時は4人世帯が最多）、その世帯数は前回の調査と比べて25%増加と高い伸び率を示しています。

世帯人員別世帯数の一般世帯総数に対する割合では、3・4・5人の世帯が全国平均を上回り、特に3人と4人の世帯はそれぞれ21%で、どちらも全国第1位でした。

一般世帯の平均世帯人数は、2.78人で全国の平均を上回ったものの、前回よりも0.16人少なくなりました。

一般世帯総数の中の核家族世帯の割合は前回調査時をやや下回りましたが、前回に

引き続き全国第1位となりました。

一般世帯

- (1) 住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者
- (2) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などの下宿している単身者
- (3) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

施設等の世帯

寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所・社会施設・矯正施設の入所者、自衛隊営舎内居住者、定まった住居を持たない単身者等

核家族世帯

夫婦のみの世帯、夫婦と子供からなる世帯、一方の親と子供からなる世帯

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年

9 転入・転出

* 1

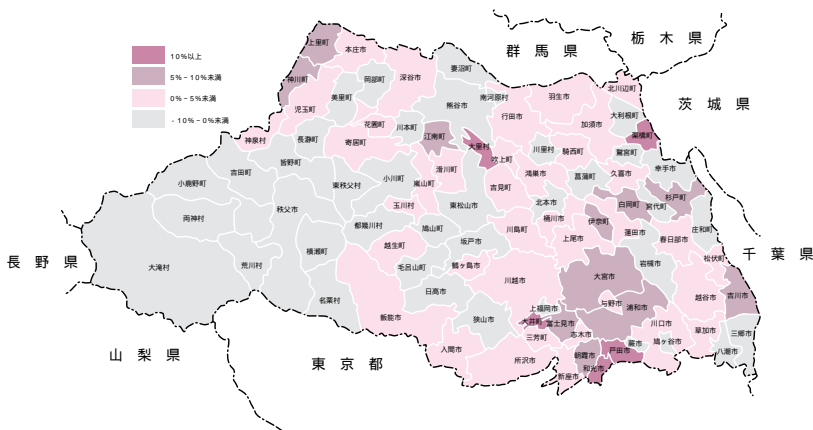
* 2

* 3

* 4

	他都道府県からの 転入者数 (人)	他都道府県への 転出者数 (人)	転入超過数 (は転出超過) (人)	社会増加率 (%)
全 国	2 813 464	2 813 464	0	0.02
北海道	61 841	70 759	8 918	0.19
青森県	26 905	29 234	2 329	0.19
岩手県	24 186	26 408	2 222	0.23
宮城県	56 705	57 436	731	0.08
秋田県	16 797	19 865	3 068	0.25
山形県	18 822	20 556	1 734	0.22
福島県	33 410	36 822	3 412	0.23
茨城県	57 619	61 318	3 699	0.13
栃木県	39 418	39 283	135	0.04
群馬県	33 179	33 129	50	0.07
埼玉県	182 894	178 672	4 222	0.04
千葉県	177 892	168 276	9 616	0.16
東京都	444 118	389 198	54 920	0.50
神奈川県	252 850	233 613	19 237	0.27
新潟県	30 541	35 135	4 594	0.22
富山県	17 065	18 233	1 168	0.19
石川県	22 064	23 218	1 154	0.11
福井県	12 081	13 281	1 200	0.17
山梨県	17 778	17 574	204	0.04
長野県	38 566	38 368	198	0.01
岐阜県	33 764	36 987	3 223	0.14
静岡県	67 256	68 898	1 642	0.08
愛知県	119 992	118 332	1 660	0.01
三重県	33 541	34 119	578	0.04
滋賀県	33 422	28 582	4 840	0.31
京都府	64 250	69 253	5 003	0.17
大阪府	179 141	205 795	26 654	0.29
兵庫県	116 950	114 640	2 310	0.06
奈良県	34 909	37 214	2 305	0.24
和歌山県	15 985	18 600	2 615	0.27
鳥取県	12 434	12 654	220	0.11
島根県	15 173	15 414	241	0.07
岡山県	37 378	38 706	1 328	0.14
広島県	59 588	65 228	5 640	0.23
山口県	30 944	34 572	3 628	0.25
徳島県	13 446	14 765	1 319	0.20
香川県	23 425	24 908	1 483	0.18
愛媛県	25 089	27 847	2 758	0.18
高知県	14 073	14 005	68	0.01
福岡県	117 278	113 008	4 270	0.04
佐賀県	19 494	20 928	1 434	0.20
長崎県	31 806	36 416	4 610	0.36
熊本県	36 600	37 065	465	0.07
大分県	24 880	26 692	1 812	0.15
宮崎県	25 606	27 908	2 302	0.31
鹿児島県	37 814	38 159	345	0.18
沖縄県	24 495	22 391	2 104	0.01
埼玉県の順位	3	4	6	6

市町村別人口増減率（平成7年～12年）



資料：「国勢調査」総務省統計局

概要

「国勢調査」によると、平成12年10月1日現在の埼玉県の各市町村別の人口は、前回調査と比べて53市町村で増加し、39市町村で減少しました。

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成12年の埼玉県の住民基本台帳上の他県からの転入者は182,894人で、全国第3位でした。その内訳では、東京都からの転入者が68,203人と最も多く、次いで千葉県が16,126人、神奈川県が15,642人となっています。

また、他県への転出者数は178,672人で、全国第4位でした。その内訳では東京都への転出者が67,236人と最も多く、次いで神奈川県が17,712人、千葉県が17,315人となっています。

転入・転出者の数を比べると、転入者の方が多く転入超過の状況が昭和30年以来続いています。昭和62年から平成8年までは10年連続の全国第1位でしたが、平成12年は第6位でした。なお、転入超過数の第1位は4年連続で東京都でした。

転入者の方が多く傾向は、「住民基本台

帳人口要覧」による平成12年度の外国からの異動や帰化などを含めて算出した社会増加率についても認められ、埼玉県は0.04%の増加でした。

転入超過数

転入者（他の都道府県から転入し、住所を定めた者の数） - 転出者（他都道府県へ住所を移した者の数・転入者の従前の住所地から算出）

社会増加数

（他の市区町村や国外から転入し住民票に記載された者の数 + 実態調査・帰化等により住民票に職権で記載された者の数） - （他の市区町村や国外に転出し住民票に記載された者の数 + 実態調査、国籍離脱等により職権で住民票を削除された者の数）

社会増加率

社会増加数 ÷ 前年度末日（平成12年3月31日）の住民基本台帳人口 × 100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1 2 3 「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局	平成12年	毎年
* 4 「住民基本台帳人口要覧」総務省自治行政局	平成12年度	毎年

10 出生

* 1

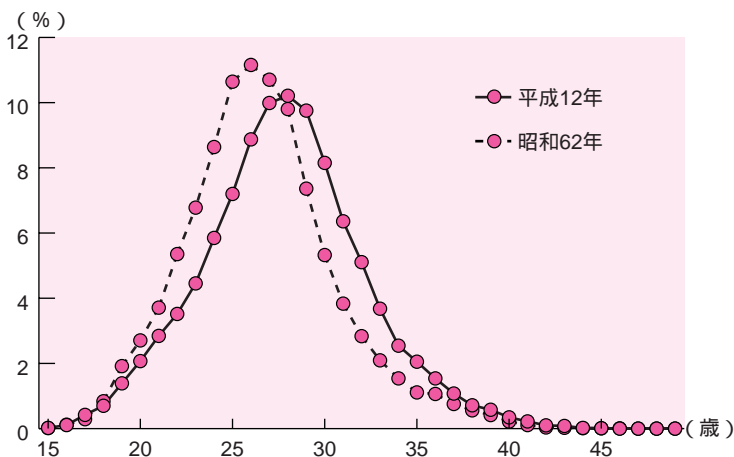
* 2

* 3

* 4

	出生数 (人)	出生率 (人口千対)	合計特殊出生率	自然増加率 (%)
全 国	1 190 547	9.5	1.36	0.19
北海道	46 780	8.2	1.23	0.06
青森県	12 920	8.8	1.47	0.01
岩手県	12 410	8.8	1.56	0.01
宮城県	22 154	9.4	1.39	0.22
秋田県	9 007	7.6	1.45	0.24
山形県	10 919	8.8	1.62	0.07
福島県	20 332	9.6	1.65	0.09
茨城県	28 220	9.6	1.47	0.18
栃木県	18 976	9.6	1.48	0.18
群馬県	19 445	9.7	1.51	0.17
埼玉県	66 376	9.7	1.30	0.38
千葉県	55 318	9.4	1.30	0.31
東京都	100 209	8.5	1.07	0.14
神奈川県	82 906	9.9	1.28	0.39
新潟県	21 886	8.9	1.51	0.00
富山県	10 170	9.1	1.45	0.05
石川県	11 467	9.8	1.45	0.19
福井県	8 036	9.8	1.60	0.15
山梨県	8 374	9.5	1.51	0.11
長野県	21 194	9.7	1.59	0.09
岐阜県	20 276	9.7	1.47	0.17
静岡県	35 794	9.6	1.47	0.20
愛知県	74 736	10.8	1.44	0.41
三重県	17 726	9.7	1.48	0.12
滋賀県	14 087	10.6	1.53	0.37
京都府	23 997	9.2	1.28	0.16
大阪府	88 163	10.2	1.31	0.31
兵庫県	54 455	10.0	1.38	0.23
奈良県	13 270	9.3	1.30	0.19
和歌山県	9 566	9.0	1.45	0.06
鳥取県	5 645	9.3	1.62	0.02
岡山県	6 522	8.6	1.65	0.13
岡山県	19 059	9.8	1.51	0.13
広島県	27 384	9.6	1.41	0.16
山口県	13 121	8.7	1.47	0.11
徳島県	7 224	8.8	1.45	0.06
香川県	9 808	9.6	1.53	0.06
愛媛県	13 207	8.9	1.45	0.02
高知県	6 811	8.4	1.45	0.18
福岡県	47 290	9.5	1.36	0.19
佐賀県	8 745	10.0	1.67	0.10
長崎県	14 098	9.3	1.57	0.05
熊本県	17 262	9.3	1.56	0.10
大分県	10 910	9.0	1.51	0.01
宮崎県	11 037	9.5	1.62	0.10
鹿児島県	16 272	9.1	1.58	0.04
沖縄県	16 773	12.8	1.82	0.69
埼玉県の順位	5	15	43	4

第1子出生時の母の年齢割合



資料：「人口動態統計年報」厚生労働省

概要

「人口動態統計年報」によると、平成12年は全国的に出生数・出生率がともに前年を上回りました。

県内の出生数は平成9年からは3年連続で前年を下回っていましたが、4年ぶりに前年を上回って66,376人となり、前年に引き続き全国第5位となりました。

出生率は9.7で、前年よりも0.1ポイント上昇しましたが、全国では前年の第12位から第15位となりました。出生率は平成元年以降10.0前後の横ばい傾向にあります。

合計特殊出生率は1.30と前年より0.07ポイント上昇しましたが、全国第43位（前年は第42位）と低い順位でした。

一方「住民基本台帳人口要覧」による平成12年度の自然増加率では、埼玉県は0.38%の増加でした。

「人口動態統計年報」によると、平成12年に埼玉県で出生した第1子の母の年齢は、28歳が最多でした。平成12年の第1子出生時の母の年齢割合を昭和62年と比べると、ピークが2歳上昇しています。また、グラフの山が緩やかになり、28歳以降で第1子

が出生した人の割合が増えています。

出生数

「戸籍法」により届け出られた出生の全数を対象としており、日本において発生した日本人の事象を集計したものの。

出生率

10月1日現在の人口（平成12年は国勢調査人口）千人当たりの年間出生数

合計特殊出生率

その年における15～49歳の女性の年齢別出産率（その年齢の女性が産んだ子供の数÷その年齢の女性の数）を合計した値で、1人の女性が一生の間に平均して何人の子供を産むかを示す目安となる仮定値。

自然増加率

自然増加数（出生数 - 死亡数）÷前年度末日（平成12年3月31日）の住民基本台帳人口×100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～3 「人口動態統計年報」厚生労働省 * 4 「住民基本台帳人口要覧」総務省自治行政局	平成12年 平成13年3月31日	毎年 毎年

11 死亡

* 1

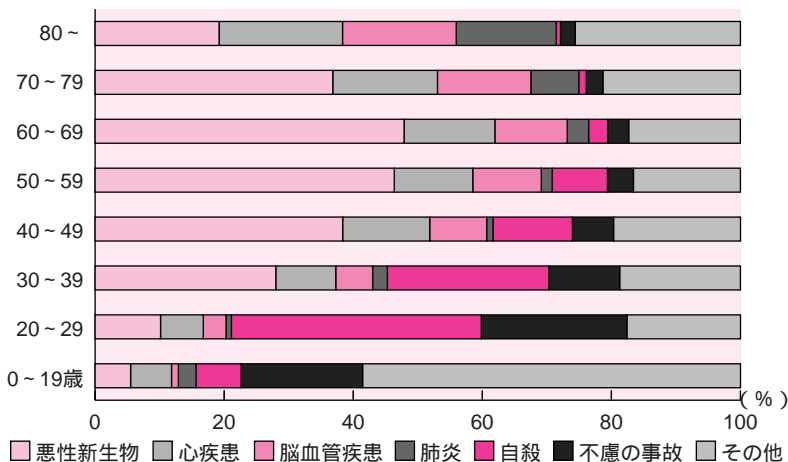
* 2

* 3

* 4

	死亡数・総数 (人)	死亡率 (人口千対)	死亡数・ 悪性新生物 (人)	死亡数・心疾患 (人)
全 国	961 653	7.7	295 484	146 741
北海道	43 407	7.7	14 162	6 768
青森県	13 147	8.9	3 843	2 016
岩手県	12 517	8.9	3 591	1 923
宮城県	17 127	7.3	5 259	2 524
秋田県	12 026	10.1	3 766	1 620
山形県	11 842	9.6	3 663	1 773
福島県	18 642	8.8	5 350	2 997
茨城県	22 877	7.7	6 780	3 478
栃木県	15 613	7.9	4 568	2 497
群馬県	16 144	8.1	4 599	2 493
埼玉県	40 486	5.9	13 163	6 483
千葉県	37 238	6.3	11 552	6 093
東京都	83 849	7.1	26 812	13 056
神奈川県	50 539	6.0	16 508	7 116
新潟県	21 835	8.9	6 781	3 115
富山県	9 734	8.7	2 856	1 377
石川県	9 391	8.0	2 878	1 496
福井県	6 931	8.5	2 059	1 067
山梨県	7 297	8.3	2 113	1 167
長野県	19 320	8.9	5 305	2 877
岐阜県	16 577	8.0	5 012	2 671
静岡県	28 323	7.6	8 286	4 442
愛知県	45 810	6.6	13 935	7 526
三重県	15 292	8.3	4 409	2 359
滋賀県	9 232	7.0	2 846	1 436
京都府	20 233	7.8	6 442	3 185
大阪府	61 315	7.1	20 716	9 008
兵庫県	41 724	7.6	13 400	6 306
奈良県	10 362	7.2	3 280	1 676
和歌山県	10 225	9.6	3 019	1 706
鳥取県	5 935	9.7	1 741	956
島根県	7 700	10.2	2 303	1 087
岡山県	16 907	8.7	4 778	2 452
広島県	23 188	8.1	6 934	3 579
山口県	15 126	10.0	4 454	2 292
徳島県	7 940	9.7	2 262	1 272
香川県	9 433	9.3	2 694	1 488
愛媛県	13 757	9.2	3 979	2 338
高知県	8 306	10.2	2 223	1 369
福岡県	38 505	7.7	12 503	4 941
佐賀県	7 899	9.0	2 473	1 100
長崎県	13 519	8.9	4 219	1 962
熊本県	15 973	8.6	4 597	2 423
大分県	11 289	9.3	3 202	1 865
宮崎県	9 906	8.5	2 882	1 531
鹿児島県	16 993	9.5	4 844	2 479
沖縄県	7 946	6.1	2 194	1 112
埼玉県の順位	7	47	7	6

年齢階級別に見た死因別死亡割合（平成12年）



資料：「人口動態統計年報」厚生労働省

概要

「人口動態統計年報」によると、平成12年は全国的に死亡数・死亡率とも前年を下回りました。

県内の死亡数も前年より減って40,486人となり、前年に引き続き全国第7位となりました。

死亡率は5.9で、前年よりも0.1ポイント下回り、全国第47位と最下位でした。昭和60年以降、昭和62年を除いて最下位が続いています。

死因別死亡数では、全体では死亡数の多いものは、[1] 悪性新生物13,163人（死亡総数の32.5%）、[2] 心疾患6,483人（16.0%）、[3] 脳血管疾患5,657人（14.0%）、[4] 肺炎3,481人（8.6%）、[5] 自殺1,414人（3.5%）、[6] 不慮の事故1,405人（3.5%）などが多くっており、その順序は前年と変わりませんでした。

年齢階級別に死因別割合をみると、19歳まででは不慮の事故、20歳代では自殺の割合が高くなっています。30歳代では悪性新生物及び自殺が高く、40～70歳代では、悪性新生物割合が最も高くなっています。

また、死亡数を年齢別の割合で見ると、19歳までと20歳代は全体の1%、30歳代は2%、40歳代は4%、50歳代は11%、60歳代は19%、70歳代が25%、80歳以上が38%を占めていました。

死亡数

「戸籍法」により届け出られた死亡の全数を対象としており、日本において発生した日本人の事象を集計したものです。

死亡率

10月1日現在の人口（平成12年は国勢調査人口）千人当たりの年間死亡数

悪性新生物

一般にガンと呼ばれている病気のこと。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「人口動態統計年報」厚生労働省	平成12年	毎年

12 婚姻・離婚

* 1

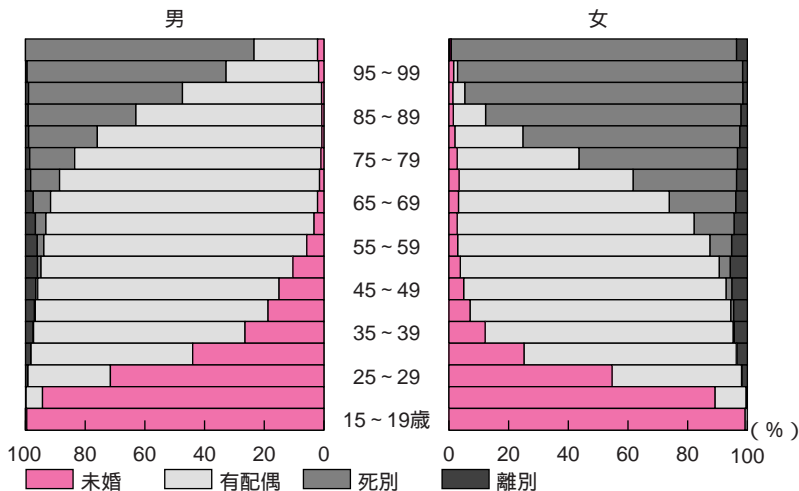
* 2

* 3

* 4

	婚姻件数 (件)	離婚件数 (件)	平均初婚年齢・ 夫 (歳)	平均初婚年齢・ 妻 (歳)
全 国	798 138	264 246	28.8	27.0
北海道	34 529	14 233	28.3	26.8
青森県	8 138	3 092	28.2	26.4
岩手県	7 671	2 292	28.5	26.5
宮城県	14 797	4 508	28.3	26.4
秋田県	5 669	1 925	28.5	26.5
山形県	6 897	1 952	29.0	26.6
福島県	12 445	3 950	28.3	26.1
茨城県	18 378	5 834	28.6	26.6
栃木県	12 607	3 902	28.4	26.6
群馬県	12 522	3 977	28.5	26.6
埼玉県	45 636	14 368	29.1	27.1
千葉県	39 597	12 700	29.2	27.2
東京都	87 360	27 032	30.1	28.0
神奈川県	61 351	18 828	29.5	27.6
新潟県	12 858	3 635	28.6	26.7
富山県	6 307	1 727	28.2	26.6
石川県	6 979	2 036	28.2	26.7
福井県	4 582	1 327	28.6	26.7
山梨県	5 353	1 638	29.3	27.2
長野県	13 405	3 733	29.2	27.2
岐阜県	12 113	3 472	28.4	26.6
静岡県	23 550	7 380	28.7	26.8
愛知県	48 391	13 841	28.6	26.8
三重県	11 271	3 549	28.3	26.5
滋賀県	8 593	2 244	28.5	26.7
京都府	15 781	5 403	28.8	27.2
大阪府	59 969	22 715	28.8	27.1
兵庫県	34 587	11 905	28.6	27.0
奈良県	8 094	2 755	28.7	27.1
和歌山県	5 897	2 403	28.2	26.5
鳥取県	3 366	1 191	28.0	26.4
島根県	3 772	1 095	28.3	26.6
岡山県	11 376	3 878	27.9	26.3
広島県	17 470	5 706	28.3	26.7
山口県	8 249	2 999	28.0	26.5
徳島県	4 523	1 598	28.0	26.3
香川県	6 052	2 026	27.9	26.2
愛媛県	8 147	3 102	28.0	26.6
高知県	4 245	1 859	28.2	26.7
福岡県	30 640	12 053	28.4	27.0
佐賀県	4 749	1 635	28.0	26.5
長崎県	7 805	2 906	28.3	26.9
熊本県	10 265	3 716	28.1	26.7
大宮	6 977	2 351	28.1	26.7
分崎	6 513	2 713	27.9	26.4
鹿兒島県	9 585	3 473	28.4	26.7
沖縄県	9 077	3 589	28.3	26.5
埼玉県の順位	5	4	6	7

年代別配偶関係割合（平成12年10月1日現在）



概要

「人口動態統計年報」によると、平成12年は、全国的に婚姻・離婚件数ともに前年を上回りました。

埼玉県での婚姻件数は、45,636件で前年よりも2,778件増加し、前年に引き続き全国第5位でした。

離婚件数は、14,368件で前年に比べ380件増加し、前年に引き続き全国第4位でした。

平均初婚年齢は、男性で29.1歳、女性で27.1歳と前年よりも男性で0.2歳、女性で0.1歳上昇し、晩婚化傾向にあります。

「国勢調査」の平成12年の結果から県内の15歳以上人口の未婚率を見ると、25～29歳では男性が71.5%、女性が54.6%と、平成7年に比べそれぞれ4.6ポイント、8.2ポイント上昇しています。また、30～34歳では男性が44.0%、女性が25.1%と、平成7年に比べそれぞれ6.6ポイント、7.4ポイント上昇しており、こちらでも晩婚化の傾向が見られます。

婚姻数・離婚数

「戸籍法」により届け出られた婚姻・離婚の全数を対象としており、日本において発生した日本人の事象を集計したものの。

平均初婚年齢

初婚者の年齢の平均。

未婚

まだ結婚したことのない人。（届出の有無に関わらず、実際の状態により区分する。）

未婚率

その年齢(年代)の未婚者÷その年齢(年代)の総人口×100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4「人口動態統計年報」厚生労働省	平成12年	毎年